

平成23年度

# 佐賀大学 学生募集要項

## 私費外国人留学生入試



出願期間	文化教育学部，経済学部， 医学部，理工学部，農学部	平成23年1月4日(火)～1月11日(火)
試験日	文化教育学部，経済学部， 理工学部，農学部	平成23年1月20日(木)
	医学部	平成23年2月25日(金)～2月26日(土)

## 佐賀大学

☎ 0952 28 8178

佐賀大学ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

入試関係ホームページ <http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

入試関係メールアドレス [nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:nyushi@mail.admin.saga-u.ac.jp)

# 目 次

I	佐賀大学憲章	1
II	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
III	私費外国人留学生入試	
1	募集人員	15
2	出願資格	15
3	出願期間	16
4	出願に必要な書類	16
5	出願方法	18
6	入試方法	18
7	試験日程及び試験時間	20
8	事前相談を要するみなさんへ	20
9	合格者の発表	21
10	入学手続	21
11	入学許可の取消し	22
12	その他	22
13	入学志願票等の記入上の注意	23
14	過去3か年の志願者等状況	25
IV	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	26
V	添付書類	
	● 入学志願票，写真票，受験票	
	● 検定料振込依頼書	
	● 検定料振込証明台紙	
	● 履 歴 書	
	● 住 所 届	
	● 入学志願票等出願用封筒	
	● 返信用封筒（出願用封筒内に同封）	
	● 写真用シール（ ” ” ）	

この募集要項のほか、本学では「**学生募集要項（一般入試）**」を別冊で作成しております。

この要項が必要な場合は、封筒の表面に「**学生募集要項（一般入試）請求**」と朱書き、返信用封筒（角形2号封筒にあて先を明記し、390円切手を貼り付けたもの。）を同封の上、「佐賀大学学務部入試課」へ請求してください。

---

# I 佐賀大学憲章

---

平成18年3月15日 制定

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

## 魅力ある大学

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます

## 創造と継承

自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます

## 教育先導大学

高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします

## 研究の推進

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します

## 社会貢献

教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます

## 国際貢献

アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します

## 検証と改善

不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします

---

## Ⅱ アドミッション・ポリシー( 入学者受入方針 )

---

### 佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

### ●文化教育学部

#### 基本理念

本学部は、国際化・情報化・高齢化の進む今日の社会状況の中で、新しい社会と文化の創造という課題と、それを担う人材の育成、教育という問題を総合的に取り上げ、現代における人間、社会、自然の全体的理解に基づく「総合知」を目指しています。

#### ○学校教育課程

##### 教育の目的・目標・方針

###### 【目的】

小学校教諭一種免許状の取得を卒業要件とする当課程においては、複雑で深刻な現在の教育問題の社会的・歴史的背景や原因、さらにその心理学的要因を理解し、それに対応できる教員の養成を目指します。

###### 【目標】

1. 学校で起こる教育上の問題を的確に把握し、それに対応できる教員を養成します。
2. 児童・生徒にとって楽しい授業を実現できる授業実践能力をもった教員を養成します。
3. 理科や数学に対する児童・生徒の興味関心を高める能力をもった教員を養成します。
4. 音楽を通じて、児童・生徒に豊かな情操を育てる能力をもった教員を養成します。

###### 【方針】

学校教育課程には7つの選修（教育学，教育心理学，障害児教育，教科教育，理科，数学，音楽）があり，学生はいずれかの選修に所属します。小学校各教科の教育内容や指導法，教育実習などの科目を一通り学習して小学校教員に必要とされる基礎的な知識や技能を身につけるとともに，所属する選修の専門を深めることにより高度な知識と能力を修得します。

#### 求める学生像

小学校の全教科に関する学習と，教育学，教育心理学，障害児教育，教科教育，理科，数学，音楽のいずれかの専門分野に興味と意欲を持ち，幅広い基礎的学力や技能を備え，学校教育の諸問題や各教科の教育について熱意を持って学ぶことにより，小学校の教員，さらには中学校・高等学校などの教員を目指す学生を求めます。

なお，卒業には小学校教員一種免許状取得の要件を完全に満たさなければならないので承知し

ておくこと。

### 入学者選抜の基本方針

#### ・私費外国人留学生入試

##### 【入学要件】

日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年の課程を修了し、日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者。

##### 【選抜方式】

教育学選修	面接及び日本語（作文）を課します。
教育心理学選修	
障害児教育選修	
教科教育選修	
数学選修	
理科選修	
音楽選修	面接及び実技検査を課します。

##### 【選抜基準】

日本留学試験及び TOEFL の成績と、面接、日本語（作文）ないしは実技検査の成績を総合的に評価します。

#### ○国際文化課程

##### 教育の目的・目標・方針

##### 【目的】

1. 国際的な広い視野に立って諸々の文化の価値を理解することのできる深い学識と豊かな人間性を養い、地域や国際社会の様々な分野で活躍できる人材を育てます。
2. 多様で異質な文化を深く理解させることで、自己を見つめ、人間とは何かを考え、生きる力、つまり「人間力」を養成します。

##### 【目標】

1. 国際社会に深い理解を有する能力を養成するための科目を設定し、国際人としての資質を形成します。
2. 英語とともに、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語を履修させ、高い外国語運用能力を養成します。
3. 指導的立場に必要なコミュニケーション能力、深い洞察と分析に基づいた企画力・実践力を養成します。
4. ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）に深い理解を有する人材を育成します。

##### 【方針】

1. 他者とコミュニケーションする力、すなわち言語運用能力を重視し、教養教育と専門教育の外国語を合わせて、2カ国語以上を徹底的に指導します。
2. 2年次からは、「日本・アジア文化選修」と「欧米文化選修」にコース分けし、それぞれの地域の歴史、哲学、法学、政治・経済などを広い視野から理解できるように指導します。
3. 3・4年次には、少人数ゼミによるきめ細かな卒論指導を通して実力をつけます。

## 求める学生像

1. 広く国際的な視野からものごとを考え、学び、それを将来自分や社会のために活かそうという意欲や希望を持つ学生を求めます。
2. 広くアジアや欧米の言語、文化、歴史、哲学、法学、政治、経済などを学びたい、海外の大学に留学したい、公務員、旅客業、情報通信業、金融保険業など国際的な視野を必要とする業種に就職したい、中学校、高等学校の国語科、社会科、英語科の教員になりたい人を求めます。

## 入学者選抜の基本方針

### ・私費外国人留学生入試

#### 【入学要件】

日本国籍を有しない者で、国外において学校教育による12年の課程を修了し、日本留学試験及びTOEFLを受験済みの者。

#### 【選抜方式】

面接及び日本語（作文）を課します。

#### 【選抜基準】

日本留学試験及びTOEFLの成績と、面接及び日本語（作文）の成績を総合的に評価します。

## ○人間環境課程

### 教育の目的・目標・方針

#### 【目的】

世界のグローバル化の中で、現代社会は人間の根源的な課題への対応に迫られ、自然科学、社会科学、人間科学の分野から総合的に環境・社会・人に関する理論と方法論の探求が必要とされています。人間環境課程には、生活・環境・技術と健康福祉・スポーツの2選修が設けられています。本課程では、地域や文化の視点から生活や環境を考え、地域に新しい生活環境を創造すること、空気・水などグローバルな自然環境に関して基礎的な知識を身につけ、社会で起こる諸問題の科学的解明とその解決策を構築すること、人間の健康福祉・スポーツについて専門的な知識や技能を身につけ、人がいきいきと暮らす社会づくりを追求することを目的とします。

#### 【目標】

変化の激しい21世紀社会では、人間と環境に対処しうる幅広い視野を持った実践力の高い人材が求められています。本課程では、自然環境、社会環境、地域社会及び家庭環境、並びに健康福祉・スポーツの側面から人間生活を考え、より豊かで、快適な生活を営むための情報処理能力を身につけ、フィールドワークを通して企画立案の出来る人材や健康づくり、社会福祉政策への提言、地域社会におけるスポーツ振興に貢献できる人材を育成します。

#### 【方針】

2選修には、それぞれ2分野が設けられています。1年次では、環境学、社会学、運動学、住居学、健康科学、地域学等の基礎的な科目を履修し、それぞれの分野の専門基礎に関する知識・技能を涵養します。2年次からは、希望する専攻分野で高度な知識・技能や実践力、問題解決能力を深め、4年次においては、環境と社会と人を意識した多様なテーマによる卒業研究を行い、卒業論文にまとめて成果を発表します。

## 求める学生像

現代社会の具体的な諸問題に取り組むことのできる教養と基礎学力を有し、自然環境、地域社

会，人間の文化，健康と福祉，またはスポーツに強い関心をもって，これらの分野に関する高度な知識と先見性，実践力を身につけていく意欲ある学生を求めます。

### **入学者選抜の基本方針**

#### **・私費外国人留学生入試**

##### **【入学要件】**

日本国籍を有しない者で，国外において学校教育による12年の課程を修了し，日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者。

##### **【選抜方式】**

面接及び日本語（作文）を課します。

##### **【選抜基準】**

日本留学試験及び TOEFL の成績と，面接及び日本語（作文）の成績を総合的に評価します。

### **○美術・工芸課程**

#### **教育の目的・目標・方針**

##### **【目的】**

真に豊かな暮らしや文化を育み，言葉や習慣の違いを越えた豊かな心とコミュニケーションを生む美術・工芸を究めるために，日々知性・感性・技術を磨き，社会に貢献する創造者となるべく，人間を豊かに伸ばします。

##### **【目標】**

近代美術・工芸を育んだ地の利と，美術・工芸教育の伝統と優れた実績を足がかりとして，理論と実践の両面から幅広く積極的な活動に裏付けられた自信と説得力を身につけ，優秀な教育者や専門家，企業人などの人材を育成します。

##### **【方針】**

総合大学の幅広い知や人の刺激を受けながら専門を深めます。1年次では日本画，西洋画，彫刻，デザイン，窯芸，木工工芸，染織工芸，金工工芸，美術理論・美術史及び美術教育の基礎的な内容について一通り履修し，作品制作や理論研究に向けた柔軟な思考力と技能を養います。2年次からは，希望する専攻分野で知識・技術・経験を深め，関連する科目も履修します。4年次には卒業研究が課され，年度末に「卒業制作展」で発表します。

#### **求める学生像**

日本画，西洋画，彫刻，デザイン，窯芸，木工工芸，染織工芸，金工工芸，美術理論・美術史及び美術教育の各分野に興味と意欲を持ち，基礎的学力や技能を備え，制作に意欲的に取り組み，表現や理論的な思考などの能力を自ら育てようとする熱意を持って学ぶことにより，優れた教育者や専門家，企業人などを目指す学生を求めます。

### **入学者選抜の基本方針**

#### **・私費外国人留学生入試**

##### **【入学要件】**

日本国籍を有しない者で，国外において学校教育による12年の課程を修了し，日本留学試験及び TOEFL を受験済みの者。

##### **【選抜方式】**

面接及び実技検査を課します。

## 【選抜基準】

日本留学試験及び TOEFL の成績と、面接及び実技検査の成績を総合的に評価します。

## ●経済学部

### 基本理念

現代の経済社会は複雑さをまし、多様に変化しています。このような状況に対応するためには、思考の軸となる専門分野の知識に加え、多分野の知識の習得や情報分析力・コミュニケーション能力の向上が欠かせません。本学部では、それらの多分野の知識の習得と能力育成を実現する教育体系を整備することによって、現代経済社会で生じるさまざまな問題の原因の所在を把握し、対策を提案できる人材の育成を目的としています。

### 教育目的

経済学・経営学・法学を柱として社会科学の知識と論理を身に付け、現代経済社会の構造と変化を総合的に理解したうえで、個人・企業・地域・国家が直面する問題を分析し解決できる人材を育成することを教育目的にしています。

### 教育方針

上記のような教育目的を達成するために、以下のような方針をとっています。

1. 社会の変化に対応し、生涯にわたって学び続ける基盤となる高い水準での読む力・聞く力・話す力・計算する力を育てます。
2. 1年次から4年次まで専門科目と並行して自然科学・人文科学などの教養科目を学び広い視野をえる教育を行います。
3. 経済学・経営学・法学を総合的に教育し、多面的に社会事象を把握する能力を育てます。
4. 1年次より少人数のゼミナール形式の授業を実施し、専門知識を深めながら、批判的思考力やコミュニケーション能力を育てます。

### 求める学生像

経済学部では以下のような考えや目的をもった学生を求めます。

1. 経済社会における課題を発見し解決する能力を経済学部で向上させ、企業や自治体などでの活動を通じて社会に貢献したいと考える人。
2. 高度な専門知識を身に付け、経済・経営・法律の分野で専門職業人となることを目指す人。
3. 社会の変化に対応するために生涯にわたって学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学習能力を大学で得たいと考えている人。

### 入学者選抜の基本方針

#### ・私費外国人入試

日本国籍を有しない者で「日本留学試験」を受験した人を対象に、本学部で日本語試験と日本語による口頭試問を行い、経済学部で勉学できる学力と日本語能力をもっているのかを判断する入試を行います。

### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

経済システム課程と経営・法律課程に共通して以下のことを期待します。

#### (関心・意欲)

社会で生起している問題に関心をもち、自分の興味の所在や考え方をまとめようとする姿勢をもつことが大切です。

## （知識・理解）

- 1．社会で生起している問題を理解するためには幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって高等学校の主要教科科目の教科書レベルの知識を習得していることが大切です。
- 2．大学での勉学を有意義なものとするには、事実や意見などの情報を読み解き、考えをまとめる国語と英語の学力を身につけておくことが大切です。
- 3．専門高等学校から進学する方には、普通科目の勉学だけでなく商業科目の基本的な知識と技能を確実に習得し、大学の勉学においてそれらを活かす姿勢が大切です。

## ●医学部

### 基本理念

医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良い医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与します。

### 教育目的

医学，医療の実践において，強い生命倫理観と広い社会的視野により問題を総合的にとらえ，その解決を科学的・創造的に行う医師・研究者を育成します。

### 教育目標

教育成果として，次のことを達成目標とします。

- 1．高い倫理観と豊かな人間性を育み，他者と共感して良い人間関係を作ることができる。
- 2．医学の知識・技術を修得するとともに，自己学習の習慣を身につける。
- 3．つねに科学的論理的に思考し，問題の本質に迫った解決に努める。
- 4．国内外に対し幅広い視野を持ち，地域社会における医療の意義を理解し，かつ実践する。

### 教育方針

目標達成に向けて，次の方針の下に教育を実施します。

- 1．実践的学習を重視し，低学年での体験実習から高学年の臨床実習などを通して，医療人としての人間性を育てる。
- 2．“自己学習・自己評価”をモットーとし，基本的事項の徹底習得に向けた教育を行う。
- 3．問題解決型学習（PBL）方式や研究室選択コースなどを通して，科学的・総合的な問題解決能力を育てる。
- 4．地域および国外の医療機関との連携により幅広い学習機会を展開し，幅広い視野を育てる。

### 求める学生像

本医学科の教育課程を通して目的に沿った人材を育成するために，次のような学生を求めます。

- 1．医学への志を持ち，医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- 2．他者への思いやりを持ち，コミュニケーションを取ることができる人
- 3．学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- 4．本医学科の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を備えた人
- 5．生涯を通して，医学・医療について勉学する意欲のある人

### 入学者選抜の基本方針

入学者選抜の「公平性・多様性および評価尺度の多面性」を理念として，次の基本方針に基づき選抜を行います。

- 1．求める学生像に沿った多彩な人材を得るために，多様な選抜方法を実施します。

現時点では、①一般入試（前期日程，後期日程），②推薦入試，③佐賀県推薦入学特別入試，④帰国子女特別入試，⑤私費外国人留学生特別入試による選抜を行っています。

2．本医学科の教育課程で学ぶために必要な学力・能力を問う試験を行います。

①一般入試では，本学で学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか，また，卒業後医療に従事する際に必要な問題解決，論理的思考，表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか，を問うための総合問題，②推薦入試では，病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し，それを解決しうる学力・能力を問うための総合問題による筆記試験を行っています。

3．医学を学ぶ意欲や医療職者になるための適性を問う試験を行います。

すべての選抜試験において，医学部志望の動機，学習意欲，積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているか，を判断するための面接試験を行っています。

4．学力・能力のみならず意欲・適性等を重視した総合評価により選抜を行います。

選抜試験の種類により組み合わせが異なるが，センター試験，総合問題試験，面接試験，調査書，高等学校長の推薦書，自己推薦書を総合的に評価して最終的な合格者を決定しています。特に，面接試験は，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い場合は不合格とすることがあります。

### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

医学科における「6年間にわたる医学教育（カリキュラム）」を確実に身に付けていくためには，高等学校で履修すべき科目を偏ることなく修得しておくことが大切です。特に理科系については，生物，物理，化学の基本的な知識と理解を有していることが望まれます。

## ●理 工 学 部

### 基本理念および教育目的・目標・方針

理工学部は，理学系の数理科学科，物理科学科，工学系の機械システム工学科，電気電子工学科，都市工学科，および理学と工学が融合した知能情報システム学科，機能物質化学科の7学科より構成されており，基礎に強い技術者，応用に強い科学者を育て，社会に送り出しています。

近年，科学技術の進歩は急速で，産業界のみならず人々の生活にも大きな影響を与えています。科学技術の恩恵を受け，私たちの暮らしは便利で豊かになってきていますが，一方では，地球環境問題など様々な弊害も現れています。そのため，これからの科学・技術者は，地球規模の視野に立った社会的責任を自覚し，科学技術の進展に貢献する責任があります。

こうした社会的要請に応えるため，本学部では，理学と工学の学問体系を基盤として，各専門分野にわたる広い知識を修得させ，かつ個々人の得意分野の能力向上をはかり，個性豊かな人材を育てることを目標としています。また本学部卒業生は，世界を舞台に専門職や研究職として活躍することが期待されますので，日本語や外国語によるコミュニケーション能力の育成にも力を入れています。

### 入学者選抜の基本方針

理工学の基礎知識に重点をおき，大学入試センター試験に加えて個別試験を課す前期日程入試，大学入試センター試験のみにより幅広い知識の総合力を問う後期日程入試，筆記試験のみでは評価しにくい能力や熱意を問う推薦入試，より高度な専門教育を望む他教育機関からの学生を対象

とした編入学試験などを実施します。帰国子女、留学生など国際性豊かな学生の受け入れも積極的にいきます。

### **高等学校段階で習得すべき内容・水準**

受験生の諸君が高等学校における学習によって身につけた知識やスキルをベースに大学の授業が設計されています。したがって、大学において諸君が期待している理工学に関する最新の知識や技術を学ぶためには、高等学校における幅広い教科の内容を十分に理解する必要があり、入学時には同程度のコンディション（水準）でもってスタートすることが望まれます。そこで、各学科が要求する高等学校段階で習得すべき内容・水準を以下に示します。

#### **○数理科学科**

##### **求める学生像**

数理科学科は、数学および数理科学の領域において、基礎科学を通して、社会を多様に支える知的素養のある人材を養成しています。そのため、本学科では、主として、次に示すような目的意識と向学心および基礎学力を持っている学生を求めています。1) 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人、2) 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人。

##### **入学者選抜の基本方針**

数理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と数理分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### **高等学校段階で習得すべき内容・水準**

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、数学については高等学校で履修した範囲において応用的な能力を有していることを求めます。

#### **○物理科学科**

##### **求める学生像**

物理学は、物質、相互作用、時間空間などの全ての自然現象を単純で美しい物理法則によって矛盾なく記述し、理解しようというとても夢とロマンに満ちた学問分野です。論理的考察と実験的検証を繰り返す、真理を探求していきます。本学科では、物理学の基礎知識・基礎能力の修得とともに、科学に明るく、柔軟な発想力や思考力を身につけてもらうことを目指しており、本学科の卒業生は物理学の研究者のみならず、企業、官庁、教員など幅広い分野で活躍し高い評価を受けております。このような物理および他の幅広い教養科目を修めるには、物理や数学など理数系の基礎学力、論理的思考力やコミュニケーションに必要な言語能力、そして幅広い基礎的な教養が必要です。これらを入学前に養っている学生を求めています。

##### **入学者選抜の基本方針**

物理科学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と物理分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### **高等学校段階で習得すべき内容・水準**

高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、数学、物理については、高等学校で履修した範囲において応用的能力を有していることを求めます。

## ○ 知能情報システム学科

### 求める学生像

知能情報システム学科では、IT（情報技術）に関する理論、コンピュータを中心とした情報システムの企画・開発・活用などに関する系統的な教育・研究を行っています。本学科では、これらを通じて情報社会の基盤を構築する技術者や教育者、研究者を育成しています。

このような背景から、本学科では、IT に対する興味と、各種ソフトウェアの開発や情報システムの構築に取り組む意欲を持つとともに、急速に進歩をとげている IT に関する幅広い知識や技術を修得するための全般的基礎学力をそなえた学生を求めています。

### 入学者選抜の基本方針

知能情報システム学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と IT 関連分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

高等学校で履修したすべての教科・科目について、教科書レベルの問題を解くことができることを求めます。

## ○ 機能物質化学科

### 求める学生像

機能物質化学科は、原子、分子あるいは結晶格子レベルでの構造設計によって、ファイナセラミックスや機能性高分子材料などの新素材、エレクトロニクスやバイオなどの先端材料の開発研究を行うと同時に、資源のリサイクルや環境の浄化などの問題を解決する“地球に優しい”物質や技術の開発を行っています。したがって、日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかを調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに興味を持つ学生を求めています。化学はもちろん生物、物理、数学など理数系科目が得意で、国語、社会、英語などの基礎学力を十分身に付けた学生を待っています。

### 入学者選抜の基本方針

機能物質化学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と化学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し、機能物質化学科への入学後の専門科目の履修において、理解を助けるため、数学および理科（物理・化学）の標準的な問題を解くことができることを求めます。

## ○ 機械システム工学科

### 求める学生像

航空機、船舶、鉄道、自動車のような輸送機械から発電プラントや各種の動力機械、工作機械やロボットなどの産業用機械、ロケットや人工衛星などの宇宙機器、さらには家電製品や情報・通信機器に至るまで、機械技術がかかわる分野は大変広範です。これからの機械技術は利便性や効率化の追求だけでなく、人間との協調や安全性、地球環境との調和、資源・エネルギー問題などがさらに重要となります。

機械システム工学科のカリキュラムは、入学者および編入学者の全員を対象とした JABEE(日本技術者教育認定機構)に認定された技術者教育プログラムであり、将来幅広い分野で国際的に活躍できる人材育成を目指して学習・教育目標が定められています。本学科では理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「もの創り」に興味のある人を求めます。

### **入学者選抜の基本方針**

機械システム工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と機械系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### **高等学校段階で習得すべき内容・水準**

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し、機械システム工学科への入学後の専門科目の履修において、理解を助けるため、数学および物理については概念や定義を十分理解した上で標準的な問題を解くことができることを求めます。

## ○電気電子工学科

### **求める学生像**

電気電子工学科では、現代社会のあらゆる分野の基盤であるエレクトロニクス産業だけではなく、近年、社会的ニーズが急速に高くなってきた情報関連分野にも多くの人材を輩出しています。したがって、電気電子工学科の学生へは、将来、エレクトロニクスや情報通信(IT)等の電気系専門分野において基礎技術と応用技術を身につけた技術者として活躍できると共に、国際社会や様々なビジネス分野でも通用する幅のある能力を修得することを目指して、多様な専門教育を行っています。大学4年生では研究室で1年間の卒業研究を行い、さらに大学院に進学した場合は、先端的な研究も実践できます。そのためには、高校時代には数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力を身につけると共に、エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」、あるいはエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲ある諸君の入学を期待しています。

### **入学者選抜の基本方針**

電気電子工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と電気電子系分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### **高等学校段階で習得すべき内容・水準**

高等学校で履修した教科・科目についての基礎的な知識を有し、電気電子工学科への入学後の専門科目の履修において、理解を助けるため、数学および物理の標準的な問題を解くことができることを求めます。

## ○都市工学科

### **求める学生像**

都市には、交通や水のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤、施設の整備と安全確保が必要とされますが、同時に自然環境や歴史との調和も求められます。デザイン性も強く要求される時代となっています。形態や空間を扱うデザインでは、美的な感性に加えて、人々の思い入れや自然観についても感じることでできる素養が必要です。多くの人達とのコミュニケーション能力も大切になります。

都市工学科は「都市環境基盤コース」と「建築・都市デザインコース」の2コース制により、高度な専門的能力を身につけた多様な人材を育成します。教育方針の特徴は、専門科目のほとんどが選択科目であることです。選択責任が求められますので、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志が重要です。

### 入学者選抜の基本方針

都市工学科では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育に必要な基礎学力と都市工学分野の基礎知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から多様な人材を受け入れることとしています。

### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

数学・理科（物理，化学）・外国語（英語）の教科について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、都市工学の基礎専門科目（数学，力学など）を理解できることを求めます。

国語・社会の教科について、基礎的な知識を有し、都市工学分野における問題に関心を持ち、これら問題を多面的に分析し、自分の考えをまとめ、意見交換ができることを求めます。

## ●農 学 部

今、私たちが生きる21世紀は、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会への転換が求められています。このような時代背景のなか、日本有数の食料生産基地である佐賀平野に立地する佐賀大学農学部は、農学という学問が、理系から文系にわたり、基礎から応用に及ぶ総合科学であることを踏まえ、「食料」、「生命」、「環境」、「情報」、「エネルギー」、「地域社会」をキーワードとした多様で重要な課題を解決していこうとしています。そのために、創造性豊かな専門職業人を育て、国内はもとより、アジアをはじめとする世界に貢献します。これらのことから、農学部は、個性とバイタリティーにあふれ、基礎学力を有する人を歓迎します。

### 教育目的・目標・方針

#### ○応用生物科学科

本学科は、ウイルス，糸状菌，線虫，昆虫，植物（作物），そして哺乳動物に及ぶ多様な生物を材料として、その生命現象及び諸特性の解明，遺伝子工学等の最新技術を応用した有用生物資源の開発・利用並びに環境にも配慮した，その保護に関する教育を行います。

これらの教育を通じて、人口問題，食糧問題，環境問題及びエネルギー問題等の解決に寄与できる，幅広い基礎知識を有し，総合的な問題解決能力を有する人材の育成を目標とします。

#### ○生物環境科学科

本学科は，環境保全及び農業における資源・エネルギー等の課題について，幅広い視野と基礎知識を持ち，高い問題解決能力を持つ技術者・研究者・指導者を育成することを目標とします。

本学科は，次の3コースを有しています。

#### ・生物環境保全学コース

地球，生物，人の調和を図り，環境への負荷の少ない生物生産環境の保全・創出と豊かな生活環境の創造に関する教育を行います。

#### ・資源循環生産学コース

農業における資源，エネルギー，環境等の課題に取り組み，高度な生物生産システムに関する教育を行います。

#### ・地域社会開発学コース

持続的な循環型社会の構築を目指し、国際的視野で民族、地域資源、環境社会、農林水産資源及びビジネス開発に関する教育を行います。

#### ○生命機能科学科

バイオサイエンス、食品、バイオマス、環境等の分野における重要な問題の解決は、社会的急務となっています。本学科は、これらの分野における科学的な知識と分析技術を身に付け、総合的な問題把握とその解決能力を有し、社会に貢献できる応用力の高い技術者、研究者及び指導者の育成を目標とします。

そのために、本学科は、生化学及び分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを応用した食品機能の追求と開発、食品の安全性、バイオマスの利用等に関する教育を行います。

#### 求める学生像

##### ○応用生物科学科

1. 本学科の教育研究の目的と内容（多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等）についての理解と関心がある人
2. 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人
3. 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

##### ○生物環境科学科

1. 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
2. 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
3. 生物産業及び環境科学の分野において、研究者、技術者として国際的な視野で活躍する意欲がある人

##### ○生命機能科学科

1. 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
2. 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人

#### 入学者選抜の基本方針（入試・選抜基準等）

農学部が求める学生像にふさわしい学生を選抜するために、一般入試、推薦入試、3年次編入学試験等の多様な入学試験を実施します。

##### ・私費外国人留学生入試

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」、TOEFL 及び面接を課します。

#### 高等学校段階で習得すべき内容・水準

農学は、農業生産を中心として、医・薬・理・工・経・文など衣食住に関わる多様な分野ならびに自然環境に至るまでの幅広い分野を有する総合科学です。佐賀大学農学部において、農学の専門教育を受けるためには、高等学校で履修する国語、英語、数学の教科書レベルの学力が必要です。また、佐賀大学農学部の3つの学科では、それぞれの学科の教育内容に応じて次のような知識と学力を持つ学生を求めています。

### ○ 応用生物科学科

理科（生物Ⅰ・化学Ⅰ）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）についての高等学校レベルの知識を修得しているとともに関連した問題を解く能力を持つ人を求めています。

### ○ 生物環境科学科

理系から文系に及ぶ広範な専門領域を学ぶことから、国語・英語・数学の素養に加えて、高等学校レベルの理科及び社会の幅広い知識を修得している人を求めています。

### ○ 生命機能科学科

化学的手法が多用されることから、化学はもとより、生物、物理、数学等の理系科目に興味を持ち、英語、国語、社会等の基礎学力を修得している人を求めています。

本学部の学生は、一般入試・特別入試（推薦，帰国子女）・編入学の異なる方式で入学していますが、いずれの入学方式においても、各試験科目については高校卒業程度（編入学は短大・高専卒業程度）の理解水準が必要です。また、生物や化学のように、学科が重視する科目については、より深く理解していることが望まれます。

なお、本学部では入学後、高等学校での未履修科目の補習授業を開講し、基礎学力を養う配慮を行っていますが、入学前には志望学科の学習内容に応じた未履修科目への対策が必要であり、特に、センター試験が課されていない特別入試での入学者には入学するまでに十分な準備が求められます。また、編入学生においては、志望学科の専門分野に関する短大・高専卒業程度の理解水準が求められます。

### Ⅲ 私費外国人留学生入試

#### 1 募集人員

学部	学科・課程，選修等		募集人員	備 考
文化教育 学部	学校教育 課程	教育 学 選 修	各課程とも 若 干 人	日本語を理解できる者 左欄から1つの課程，選修を志望して ください。
		教育 心 理 学 選 修		
		障 害 児 教 育 選 修		
		教 科 教 育 選 修		
		理 科 選 修		
		数 学 選 修		
	音 楽 選 修			
	国際文化 課 程	日本・アジア文化選修		
		欧 米 文 化 選 修		
	人間環境 課 程	生活・環境・技術選修		
健康福祉・スポーツ選修				
美 術 ・ 工 芸 課 程				
経済学部	経済シス テム課程	国際経済社会コース	各課程とも 若 干 人	日本語を理解できる者 2課程の中から1課程を志望してくだ さい。 各課程は，入学して1年後にそれぞ れのコースに分かれます。
		総 合 政 策 コ ー ス		
	経営・法律 課 程	企 業 経 営 コ ー ス		
		法 務 管 理 コ ー ス		
医 学 部	医 学 科		若 干 人	日本語を理解できる者
理工学部	数 理 科 学 科		各学科とも 若 干 人	日本語を理解できる者 7学科の中から1学科を志望してくだ さい。 機能物質化学科は，入学して1年後に それぞれのコースに分かれます。 都市工学科は，入学して1年半後にそ れぞれのコースに分かれます。
	物 理 科 学 科			
	知 能 情 報 シ ス テ ム 学 科			
	機能物質 化 学 科	物 質 化 学 コ ー ス		
		機 能 材 料 化 学 コ ー ス		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科			
	都 市 工 学 科	都 市 環 境 基 盤 コ ー ス		
建 築 ・ 都 市 デ ザ イ ン コ ー ス				
農学部	応 用 生 物 科 学 科		各学科とも 若 干 人	日本語を理解できる者 3学科の中から1学科を志望してくだ さい。 生物環境科学科は，入学して1年後に それぞれのコースに分かれます。
	生物環境 科 学 科	生 物 環 境 保 全 学 コ ー ス		
		資 源 循 環 生 産 学 コ ー ス		
		地 域 社 会 開 発 学 コ ー ス		
生 命 機 能 科 学 科				

#### 2 出 願 資 格

日本の国籍を有しない者で，独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成22年度（2010年度）日本留学試験」（6月又は11月実施のいずれか，医学部は11月実施のみ。）において本学が指定する科目等を受験し，TOEFLを受験済みの者（経済学部を除きます。）で，次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において，学校教育による12年の課程を修了した者  
医学部にあつては，平成23年3月31日までに修了見込みの者を含みます。
- (2) 上記(1)に準ずる者で，文部科学大臣の指定する者

### 3 出願期間

平成23年1月4日(火)から1月11日(火)17時必着とします。

出願書類は、「速達書留」郵便により提出してください。

なお、配達に要する日時等を考慮して早めに郵送してください。

### 4 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
(1) 入学検定料 17,000円	<p>本要項に添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。(次頁注1参照)</p> <p>① 医学部において、第1次選考(「6入試方法」参照)の不合格者に対しては、13,000円を返還します。</p> <p>② 上記の①に該当する者は、「返還請求書」用紙等を送付しますので、必要事項を記入の上、指定する期日までに手続きを行ってください。</p> <p>③ なお、上記①、②及び次頁(注1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p>
(2) 検定料振込 証明台紙	<p>上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を本要項添付の台紙に貼り付けてください。</p>
(3) 入学志願票	<p>本学所定の入学志願票に必要事項を自筆で記入してください。</p>
(4) 写真2枚 (4cm×3cm)	<p>上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。</p>
(5) 履 歴 書	<p>本学所定の様式に自筆で記入してください。(学校教育歴については、すべての教育機関にわたって、名称及び入学・卒業の年月を明記してください。)</p>
(6) 高等学校等の 卒業(修了) 証明書及び 学校要覧等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高等学校等の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書を提出してください。</li> <li>○ 国際バカロレア資格取得者等は、その資格証書の写しを提出してください。</li> <li>○ 卒業(修了)した高等学校等の沿革、概要及びカリキュラムを記載した学校要覧等を可能であれば提出してください。</li> </ul>
(7) 成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 卒業(修了)した高等学校の成績証明書(学校長が作成したもの)を提出してください。</li> <li>○ 飛び級や繰り上げ卒業の事実があれば記載してください。</li> <li>○ 科目名、成績評価等が符号又は略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。</li> <li>○ 国際バカロレア資格取得者は、最終試験6科目の成績証明書を提出してください。</li> <li>○ アビトゥア資格取得者は、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績の写しを提出してください。</li> <li>○ バカロレア資格(フランス共和国)取得者は、成績証明書を提出してください。</li> <li>○ 各国の教育制度による、国家試験等の統一試験を受験している者は、成績評価証明書を必ず提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Scholastic Assessment Test (SAT) (アメリカ)</li> <li>・ American College Testing-Examination (ACT) (アメリカ)</li> <li>・ General Certificate of Education (GCE) (イギリス)</li> <li>・ その他の国の成績評価証明書(なお、統一試験制度についての公式資料等を添付してください。)</li> </ul> </li> </ul>
(8) 日本留学試験 成績通知書 (写)	<p>「平成22年度(2010年度)日本留学試験(注2)(6月又は11月実施のいずれか、医学部は11月実施のみ。)の成績通知書の写しを提出してください。</p>

出願書類等	摘 要
(9) 返信用封筒1枚	<b>受験票</b> を送付しますので、本学所定の封筒の表面に「日本国内の連絡先」の住所、氏名、郵便番号を明記の上、 <b>350円切手</b> を貼り付けてください。医学部については、第1次選考結果通知書と受験票（合格者のみ）を送付します。
(10) 住所届	本学所定の <b>住所届</b> に必要事項を自筆で記入してください。
(11) TOEFL(注3)スコア Examinee's Score Recordのコピーおよび Official Score Report(経済学部を除きます。)	TOEFL スコアは平成21年1月以降に受験した成績を有効とします。TOEFL スコアはインターネット版 TOEFL (TOEFL - iBT)、ペーパー版 TOEFL (TOEFL - PBT) を問いません。 なお、Official Score Report (注4)(注5)を <b>平成23年1月19日(水)</b> までに本学に届くようにアメリカにある ETS (Educational Testing Service) へ依頼してください。 <b>(本学に届くまで4～7週間ほどかかりますので、11月末までに依頼を行ってください。)</b>
(12) 外国人登録原票記載事項証明書等	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは市区町村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。 ○出願時に日本国内に在住していない者は、旅券の写しを提出してください。

(注1) 下記の場合は出願を受理しません。

- ① 検定料が振り込まれていない場合(「C票 検定料振込証明書」に出納印がない場合)
- ② 振り込み済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明台紙に貼り付けられていない場合  
出願書類を受理した後は、振込済の検定料は返還いたしません。

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
  - ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
  - ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- なお、返還請求の方法等については、学務部入試課(0952-28-8177)までお問い合わせください。

(注2) 「日本留学試験」：独立行政法人 日本学生支援機構が実施する試験

問い合わせ先 〒153 8503 東京都目黒区駒場4 5 29  
独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課  
電話 03 6407 7457 FAX 03 6407 7462  
E-Mail eju@jasso.go.jp HP <http://www.jasso.go.jp/>

(注3) TOEFL：アメリカにある ETS (Educational Testing Service) が世界中で実施している英語能力測定試験 <http://www.ets.org/toefl/>

(注4) 送付依頼方法 Official Score Report を佐賀大学へ送付する方法は、

- ① TOEFL - iBT 試験 で、受験申し込みの方法
  1. オンラインでの申し込みの場合は、申し込み時にリストから佐賀大学を探し選択してください。
  2. 郵送での申し込みの場合は、申込用紙に DI コード8267及び Department コード00を記入してください。  
申し込みの際に依頼すれば、**無料**で送付依頼ができます。申し込み時でない場合は、**有料**となります。(受験日より2年以内のみ有効)
- ② TOEFL - PBT 試験 の場合は、当日に佐賀大学の DI コード8267を記入してください。  
試験当日は、**無料**で送付依頼ができます。試験当日でない場合は、**有料**となります。(受験日より2年以内のみ有効)

(注5) 発送にかかる期間 Official Score Report が、受験日から佐賀大学に届くまでには、

- ① TOEFL - iBT 試験 の場合、約4週間後
- ② TOEFL - PBT 試験 の場合、約7週間後

なるようです。詳しくは、国際教育交換協議会へお問い合わせください。なお、Official Score Report は、平成23年1月19日(水)までに届くように申請してください。(TOEFL 受験は、遅くとも平成22年11月末までに受験していないと、ETS (Educational Testing Service) から Official Score Report が、平成23年1月19日(水)までに届かない恐れがあるので注意してください。)

問い合わせ先 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部  
TOEFL 事業部コールセンター 電話：03 5467 5489 (オペレーター対応時間  
平日 10：30～16：30) 時間以外は、24時間テープ案内。 <http://www.cieej.or.jp/>

## 5 出願方法

- (1) 出願書類等は、一括して本学所定の「出願用封筒」に入れ、「速達書留」とし、出願期間内に提出してください。

提出先 〒840 - 8502 佐賀市本庄町 1 番地  
佐賀大学学務部入試課

- (2) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受理しません（受理されなかった場合は、検定料の返還請求の手続きを行ってください。）
- (3) 出願書類受理後は、いかなる事情があっても住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更は認めません。また、納入された入学検定料は第1次選考の不合格者を除き一切返還しません。

## 6 入試方法

- (1) 文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部

次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成22年度（2010年度）日本留学試験」の成績及び TOEFL の成績（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査等の成績を総合的に判断し、合格者を決定します。

- (2) 医学部

① 第1次選考

次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成22年度（2010年度）日本留学試験」の成績，TOEFL の成績及び出願者の提出書類により，第1次選考の合格者を決定します。

第1次選考の結果は，出願者全員に「速達郵便」で通知し，合格者には本学の受験票を同封します。

なお，同通知が平成23年2月15日(火)までに到着しない場合は，学務部入試課（電話0952 - 28 - 8178）にお問い合わせください。

② 第2次選考

第1次選考の合格者に対して，総合問題試験を課し，面接を行い，第1次選考結果と総合して最終的な合格者を決定します。

③ 評価のポイント

ア 総合問題

総合問題は，在学中に学習する諸科目を理解できる基礎的学力が備わっているか否かを判定します。また，卒業後医療に従事する際に必要な問題解決，論理的思考，表現の各能力を在学中に修得する力を有しているか否かを総合的に判定します。

イ 面接

面接は，医学部に入学するにふさわしい人物を選抜するために定めている評価項目の一つで，医学部志望の動機，学習意欲・積極性，生命や医療に対する倫理観，チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し，将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうか総合的に判断するために実施します。

なお，総合判定の重要な資料とするとともに，評価が低い者は不合格とすることがあります。

- (3) 日本留学試験及び TOEFL（経済学部を除きます。）並びに本学が行う学力検査等のうち一つでも受験しなかった者は，失格とします。

(4) 実施教科・科目等

事項	文化教育学部												経済学部	医学部	理工学部	農学部			
	学校教育課程						国際文化課程	人間環境課程			美術・芸術課程								
	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修		教科教育選修		理科選修	数学選修		音楽選修	生活・環境・技術選修	健康福祉・スポーツ選修									
利用する回の指定	6月、11月のいずれか（両方を受験した者については、高得点を用います。）											6月、11月のいずれか	11月	6月、11月のいずれか	6月、11月のいずれか				
出題言語の指定	日本語						日本語又は英語			日本語	日本語	日本語又は英語	日本語						
文系と理系の別	文系又は理系		文系又は理系		理系	理系	文系	文系	文系又は理系		文系	文系	文系	理系	理系	理系			
	文系	理系	文系	理系					文系	理系									
日本語																			
理科																			
数学(コース1)																			
数学(コース2)																			
総合科目																			
理科の選択科目		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択							「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択		「物理」, 「化学」, 「生物」から2科目 選択
TOEFL													-						
学力検査等	面接、日本語（作文）						面接、 実技検査	面接、日本語（作文）			面接、 実技検査	面接、 日本語	面接、 総合問題	面接	面接				
特記事項、備考	美術・芸術課程の実技検査は、鉛筆によるデッサン（実技用具は大学で準備します。）											日本語は読解、作文、リスニングとします。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。	面接を通じて、志望学科の学業に対する熟意と適性があるかどうかを判断します。				

(注1) 印は、必ず受験しておくことを示します。

(注2) 印は、数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

(注3) 各学部第1志望のみ。

(注4) 文化教育学部、経済学部、理工学部及び農学部における日本留学試験の「利用する回の指定」において、6月及び11月の両方を受験した者については、高得点を用います。

(5) 日本留学試験，TOEFL，学力検査等の配点等

事項	文化教育学部												経済学部	医学部	理工学部	農学部
	学校教育課程						国際文化課程	人間環境課程			美術・芸術課程					
	教育学選修 教育心理学選修 障害児教育選修		教科教育選修		理科選修	数学選修		音楽選修	生活・環境・技術選修	健康福祉・スポーツ選修						
文系と理系の別	文系又は理系		文系又は理系		理系	理系	文系	文系	文系又は理系		文系	文系	文系	理系	理系	理系
	文系	理系	文系	理系					文系	理系						
日本語	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	225	450	450	450
理科		200		200	200	200				200				200	200	200
数学	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	100	200	200	200
総合科目	200		200				200	200	200		200	200	100			
英語 (TOEFL)	300													300	300	300
面接	400	400	300	300	400	500	300	400	300	300	400	500	合、否	60	A, B, C	850
日本語	500	500	600	600	500	400		500	600	600	500		400			
総合問題														240		
実技検査							600				400					
総合評価等	2050												合、否	合、否	良可不可	合、否

## 7 試験日程及び試験時間

学 部	月 日(曜)	試験時間	試験場
文化教育学部	平成23年1月20日(木)	10:00~	文化教育学部 (本庄キャンパス)
経済学部			経済学部 (本庄キャンパス)
(注) 医学部	平成23年2月25日(金)	10:00~	医学部 (鍋島キャンパス)
	平成23年2月26日(土)	9:10~	
理工学部	平成23年1月20日(木)	10:00~	理工学部 (本庄キャンパス)
農学部			農学部 (本庄キャンパス)

(注) 第1日目の総合問題試験を受験しなかった者は失格とし、第2日目の面接試験は受けられません。

## 8 事前相談を要するみなさんへ

本学において、受験上及び修学上の配慮を必要とされる志願者(障がい等を有するなど)は、出願にあたって、次により相談してください。

### (1) 相談の時期

平成22年12月10日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

### (2) 相談の方法

電話、郵便等にて、下記まで連絡ください。詳細については、その際に説明いたします。

#### (相談及び連絡先)

〒840 8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学学務部入試課 TEL 0952 28 8178

## 9 合格者の発表

合格者の発表は、次の日時に本学(本庄キャンパス)「学務部入試課(佐賀市本庄町1番地)」前に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

- ・文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部 平成23年1月28日(金)14時
- ・医学部 平成23年3月6日(日)14時

また、情報サービスの一環として各合格者発表日の14時30分頃からホームページでも確認できます。

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

なお、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

## 10 入学手続

### (1) 入学手続期間

平成23年3月11日(金)から3月15日(火)17時までに必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

### (2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

#### ① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード(合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。)、写真(2枚)

#### ② 「日本留学試験」の受験票

本人確認後、返却します。

#### ③ 入学料・授業料

入学料：282,000円(入学手続時){予定額}

授業料：267,900円(前期・後期){年額535,800円}{予定額}

この金額は、平成22年4月現在のものです。

### (留意事項)

#### ① 入学料は、入学時に改定されることがあります。

入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。

#### ② 授業料(前期分)の納入期間は、平成23年4月8日(金)から4月28日(木)です。(入学後に付与される「学籍番号」と「学生氏名」が必要となります。)

#### ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

#### ④ 入学手続完了者で、特別な事情により平成23年3月31日(木)までに授業料を納入し、なおかつ平成23年3月31日(木)までに入学を辞退し、受理された場合には、納入した者の申し出により、納入済の授業料相当額を返還します。

#### ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

### (3) 注意事項

#### ① 合格者は、一つの大学にしか入学手続をとることはできません。

#### ② 入学手続の全般にわたる詳細な手続方法は、入学手続関係書類の中に記載します。

## 11 入学許可の取消し

- (1) 平成23年3月までに学校教育における12年の課程を修了できない者は、入学許可を取消します。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取消することがあります。

## 12 そ の 他

### 個人情報の取扱いについて

独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学料・授業料免除、（入学料徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

### 13 入学志願票等の記入上の注意

- (1) 志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が黒のペン又は黒のボールペンを使用し、丁寧に記入してください（障がい等を有する等の志願者で記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）
- (2) 学科・課程，選修のコード番号を記入する欄は「電算処理コード表（24ページ）」を参照し、正確に記入してください。
- (3) 印欄は、記入しないでください。
- (4) 不明の点があれば、佐賀大学学務部入試課（電話0952 - 28 - 8178）にお問い合わせください。

#### ① 氏名，性別，生年月日及び出身国名又は地域名欄

- 氏名は、下記のすべてに記入してください。
  - (1)英字（アルファベット）による表記
  - (2)漢字又はカタカナによる表記（英字による略記を併用してもよい。）
  - (3)カタカナ（フリガナ）による表記
- 性別は、該当するコード番号を で囲んでください。
- 西暦で生年月日を記入してください。月及び日が1ケタの場合は右づめとし、前1コマに「0」を記入してください。
- 出身国名又は地域名を記入してください。

#### ② 最終出身学校名及びその卒業年月日を記入してください。

#### ③ 志望学部及び学科・課程，選修

- 志望学部欄は、志望する学部のコード番号を で囲んでください。
- 志望学科・課程，選修名欄は、志望する学科・課程，選修名を記入し、コード欄は、「電算処理コード表（24ページ）」により、該当する学科・課程，選修名のコード番号の数字を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。

#### ④ 現住所及び電話番号等

- 本学から出願書類等について連絡する場合がありますので、正確に記入してください。  
なお、出願後変更があった場合には直ちに電話で連絡し、さらに、ハガキ等でも通知してください。

（連絡先）〒840 8502 佐賀市本庄町1番地  
佐賀大学学務部入試課  
電話 0952 28 8178

#### ⑤ 写真票，受験票

- 氏名及び志望する学部，学科・課程，選修を所定の欄に記入してください。
- 上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り，その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。

#### ⑥ 検定料振込証明台紙

- 氏名及び志望する学部・学科等を記入の上、「C票 検定料振込証明書」を所定の欄に貼付してください。

#### ⑦ 住所届

- 合格通知書は、住所届に記載された「日本国内の連絡先」に送付しますので、正確に記入してください。  
なお、出願後、住所に変更があった場合には直ちに電話で連絡し、さらに、ハガキ等でも通知してください。

電算処理コード表

《学部コード》

学 部	コード
文化教育学部	1
経済学部	2
医学部	5
理工学部	3
農学部	4

《学科・課程，選修コード》

学部	学科・課程，選修	コード	
文化 教育 学部	学校 教育 課程	教育学選修 教育心理学選修	01
		障害児教育選修	02
		教科教育選修	03
		理科選修	04
		数学選修	05
		音楽選修	06
	国際文化課程	07	
	人間環境課程	08	
	美術・工芸課程	09	
	経済学部	経済システム課程	01
経営・法律課程		02	
医学部	医 学 科	01	
理 工 学 部	数 理 科 学 科	01	
	物 理 科 学 科	02	
	知能情報システム学科	03	
	機能物質化学科	04	
	機械システム工学科	05	
	電気電子工学科	06	
	都市工学科	07	
農学部	応用生物科学科	01	
	生物環境科学科	02	
	生命機能科学科	03	

## 14 過去3か年の志願者等状況

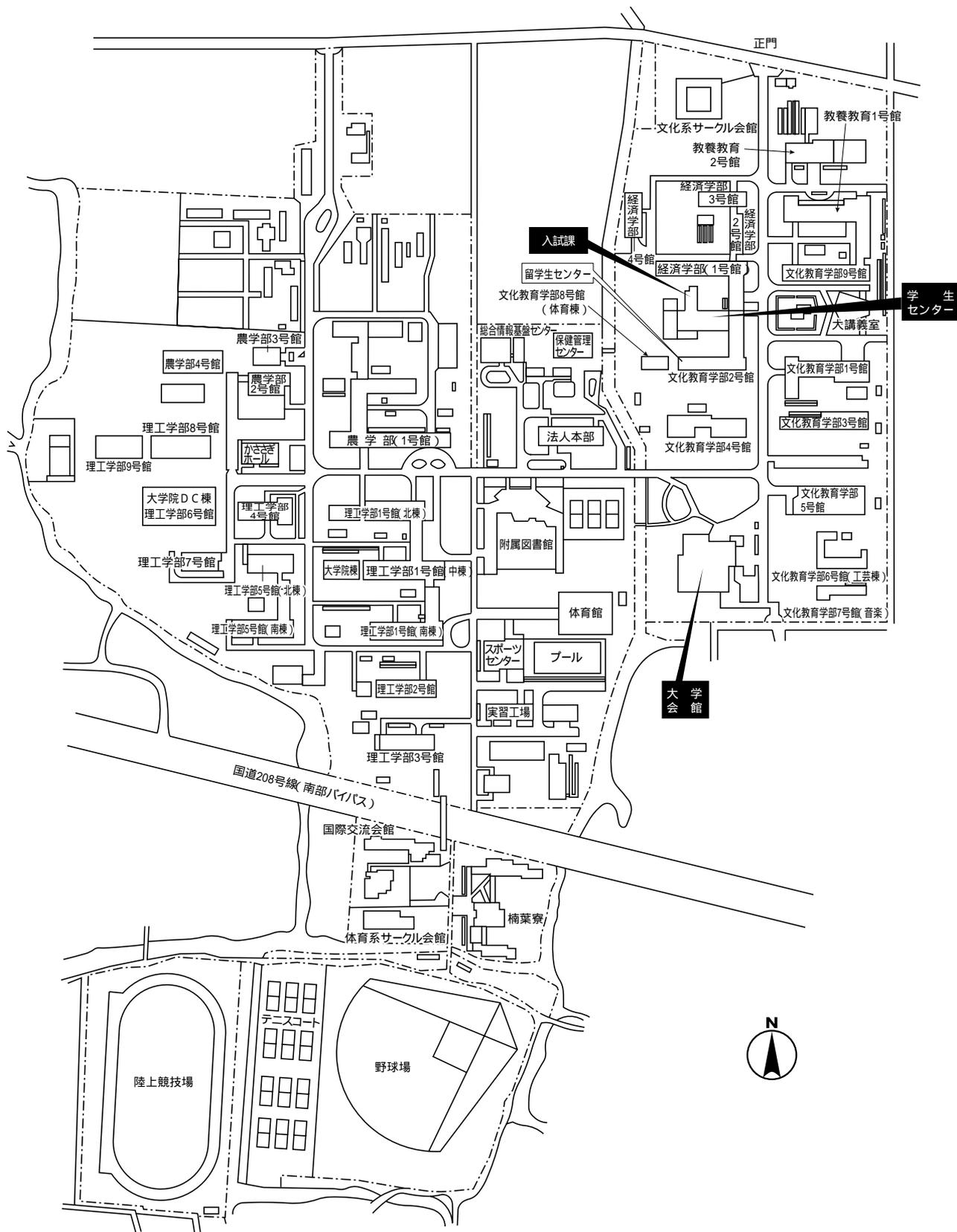
学部	学科・課程，選修		平成20年度					平成21年度					平成22年度				
			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
文化教育学部	学校教育課程	教育学・教育心理学選修	若干人	1	1	1	0	若干人	2	2	1	0	若干人	1	1	1	1
		障害児教育選修	若干人					若干人					若干人				
		教科教育選修	若干人					若干人	2	2	0	0	若干人				
		理科選修	若干人					若干人					若干人				
		数学選修	若干人					若干人					若干人				
		音楽選修	若干人					若干人					若干人				
	国際文化課程	若干人	1	1	1	0	若干人	4	4	3	2	若干人	1	1	0	0	
	人間環境課程	若干人	1	1	1	0	若干人	4	4	3	0	若干人					
美術・工芸課程	若干人					若干人					若干人	1	1	1	1		
	小計		3(0)	3(0)	3(0)	0(0)		12(0)	12(0)	7(0)	2(0)		3(0)	3(0)	2(0)	2(0)	
経済学部	経済システム課程	若干人	6	6	3	1	若干人	12	12	5	3	若干人	20	19	5	1	
	経営・法律課程	若干人	17	16	7	4	若干人	28	27	8	3	若干人	23	21	7	3	
	小計		23(0)	22(0)	10(0)	5(0)		40(0)	39(0)	13(0)	6(0)		43(0)	40(0)	12(0)	4(0)	
医学部	医学科	若干人	6	2	0	0	若干人					若干人					
	小計		6(0)	2(0)	0(0)	0(0)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
理工学部	数理学科	若干人	2	2	2	0	若干人					若干人					
	物理学科	若干人					若干人					若干人					
	知能情報システム学科	若干人	3	3	1	1	若干人	3	3	1	0	若干人	2	2	1	1	
	機能物質化学科	若干人	1	1	1	0	若干人	1	1	0	0	若干人	2	2	2	0	
	機械システム工学科	若干人	11(2)	10(2)	4(2)	2(2)	若干人	6(1)	6(1)	4(1)	3(1)	若干人	5(1)	5(1)	2(1)	2(1)	
	電気電子工学科	若干人	6(1)	6(1)	4(1)	2(1)	若干人	4(1)	4(1)	3(1)	1(1)	若干人	3	3	1	1	
	都市工学科	若干人	10	10	6	1	若干人	5	5	1	1	若干人	8	8	3	1	
	小計		33(3)	32(3)	18(3)	6(3)		19(2)	19(2)	9(2)	5(2)		20(1)	20(1)	9(1)	5(1)	
農学部	応用生物科学科	若干人	1	1	0	0	若干人					若干人	3	3	0	0	
	生物環境科学科	若干人	3	3	3	1	若干人	4	4	1	0	若干人	3	3	1	1	
	生命機能科学科	若干人	2	2	1	0	若干人					若干人	3	3	2	0	
	小計		6(0)	6(0)	4(0)	1(0)		4(0)	4(0)	1(0)	0(0)		9(0)	9(0)	3(0)	1(0)	
	合計		71(3)	65(3)	35(3)	12(3)		75(2)	74(2)	30(2)	13(2)		75(1)	72(1)	26(1)	12(1)	

( ) は、内数でマレーシア政府派遣留学生の数です。

# IV 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

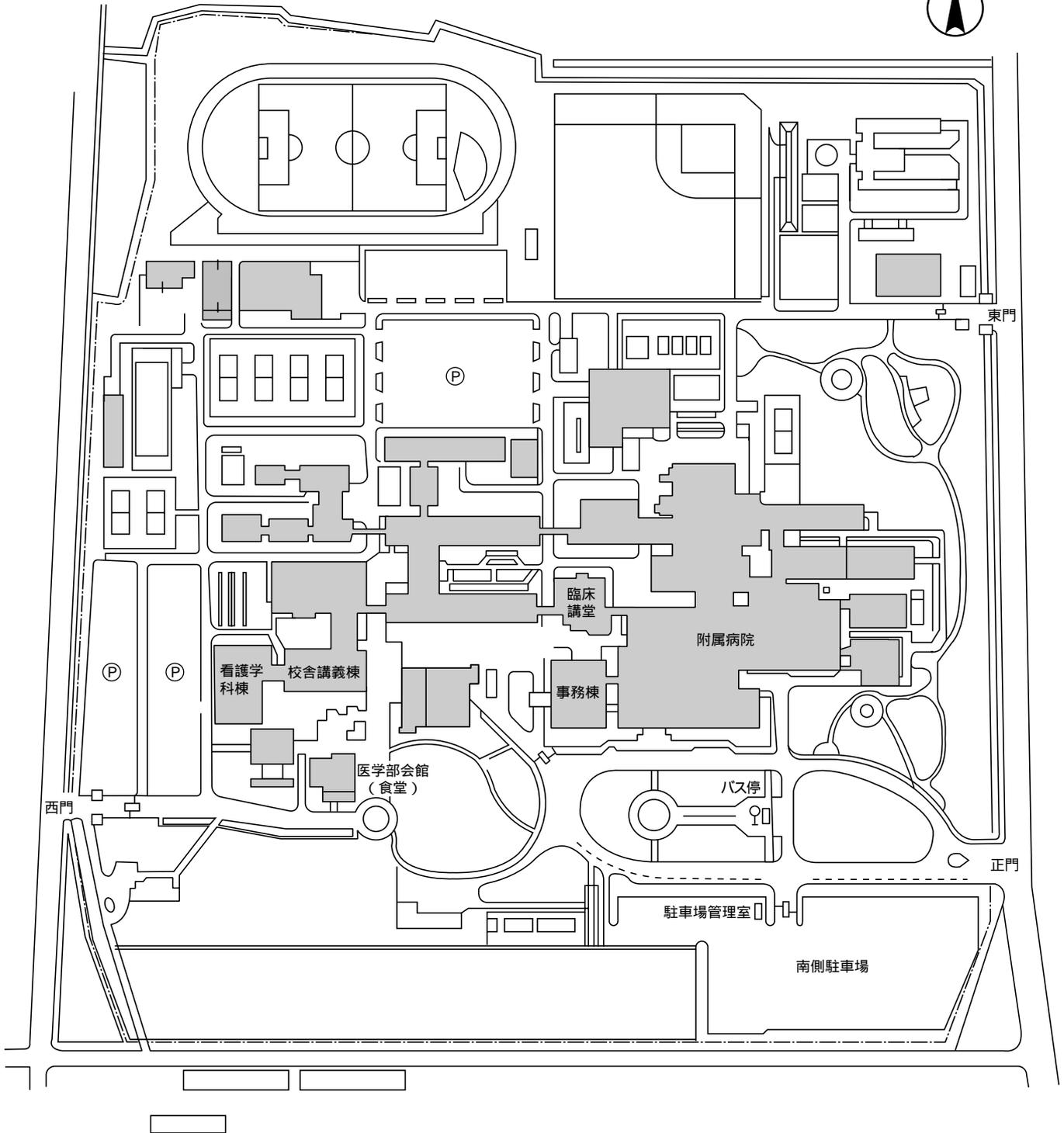
## 佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部]

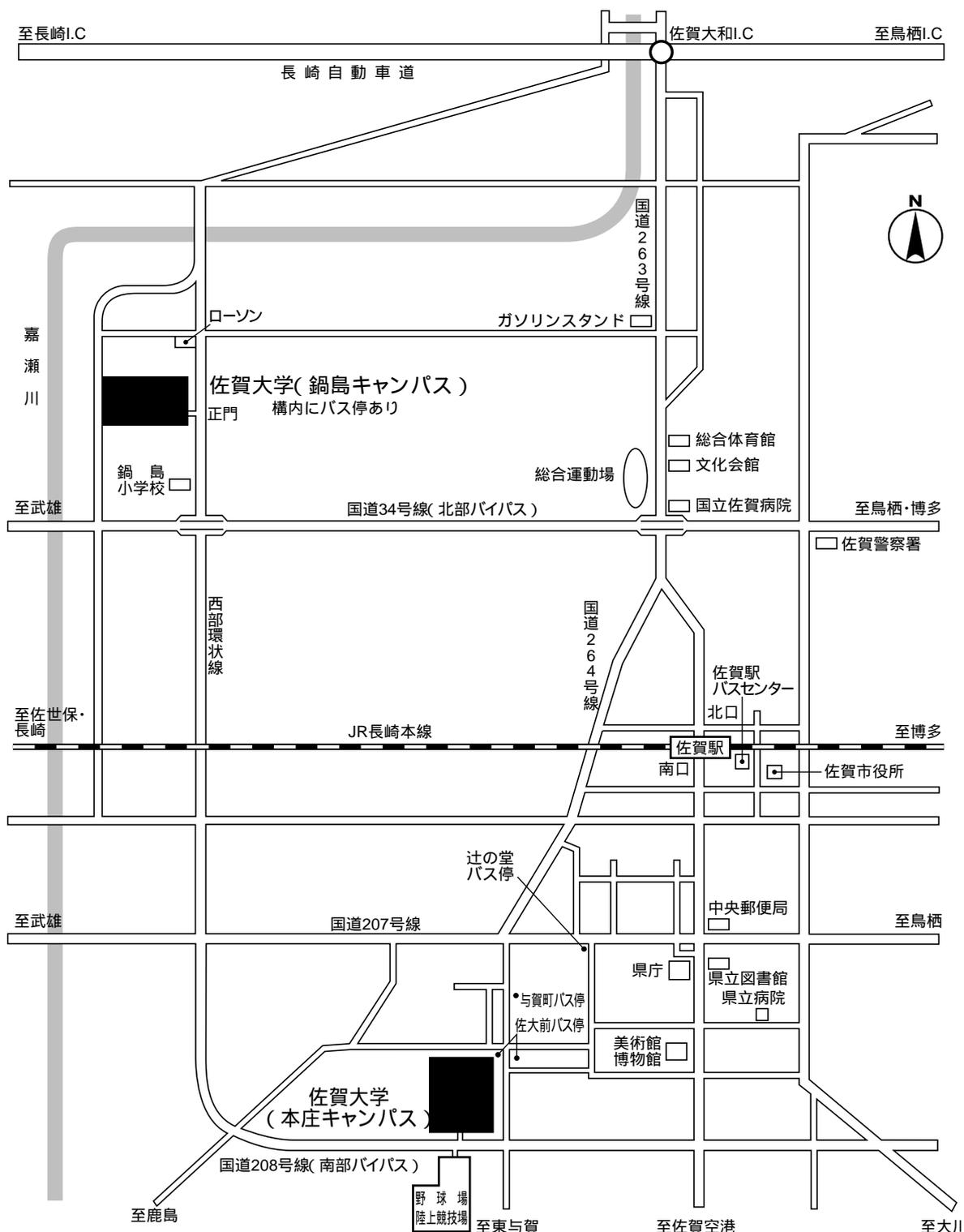


# 佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

[医学部]



# 佐賀市内略図



## 佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス相応線・11番，東与賀線・12番，佐大行・63番で約20分，「佐大前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

## 佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス佐大医学部線（神野公園，鍋島小学校経由・50番）で約25分，終点「佐大医学部」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

試験当日に自家用車で来た人は 正門から入り 南側駐車場に駐車してください。(佐賀大学(鍋島キャンパス)配置図参照)  
また，帰りの際は，駐車場管理室に受験のため来た旨を申し出て，無料措置を受けてください。



本学の情報を携帯電話で見ることができます。  
簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。

携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/saga-u/>